

武田塾の理念、サービス

実施日:	名前:
------	-----

I. 以下の空欄を埋めてください

○武田塾は授業をしない塾！

- ・勉強には【(1)】、【(2)】、【(3)】の3段階がある
- ・武田塾では【(2)】、【(3)】の自学自習の時間が最も大切であると考えている

○武田塾では逆転合格が可能！

- ・武田塾では【(4)】による自学自習で生徒の成績を伸ばす
- ・カリキュラムに縛られず、生徒のレベルや志望校に合わせて必要な【(4)】を必要な日数で終わらせることができれば志望校に合格することができる

○武田塾は自学自習の徹底【(5)】をする！

- ・講師の役割は生徒の自学自習を【(5)】すること
- ・特訓で「【(6)】→【(7)】→【(8)】」の思考を繰り返し、最終的には自分自身で考えて自学自習できる生徒を育てていく

○武田塾のサービス

① 【(9)】

- ・生徒の毎日のやるべき勉強を武田塾の講師や校舎長が組み立て、今日何をやれば志望校合格に近づくかを示すもの
- ・参考書ルートから逆算して参考書ごとに【(10)】で毎日の勉強を指定
- ・参考書の【(11)】も明示することが大切

② 【(12)】

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	
(11)	
(12)	

- ・武田塾では参考書の定着度を測るために毎週【(12)】を実施
- ・宿題範囲の同じ問題をランダムでテスト
- ・最低でも【(13)】以上の正答率を上回っていないと先に進めないという仕組み

(13)

③ 個別指導

1. 質問対応

- ・参考書の解説を読み込んでわからない内容は、講師がさらに詳しく解説

2. 【(14)】

- ・解答根拠などを講師が口頭で確認(質問)し、理解度を細かくチェック

3. 勉強法の改善

- ・発見された課題に対し、原因を分析し、解決策(正しい勉強法)を伝授

(14)

④ 【(15)】

- ・勉強をサボってしまう生徒向け

- ・毎日の来校時間と帰宅時間も徹底管理

- ・指定時間に来ていなければ生徒(保護者)へ連絡

- ・その日の宿題の終了報告をしないと帰れない

(15)

・最も多い受験コースは【(9)】、【(12)】、【(14)】の「個別管理特訓」

・個別管理特訓には「個別管理特訓 S」と「個別管理特訓 L」の 2 種類がある

- ・S は【(16)】科目、L は【(17)】科目

- ・S は【(12)】1時間 + 【(14)】1時間

- ・L は【(12)】2時間 + 【(14)】1時間

・その他のサービス

1. 【(18)】

- ・自習中の疑問は、校舎長や講師(本部対応サービス)に質問できる

(16)

2. 【(19)】

- ・共通テスト型マーク模試を受験学年の塾生は年間3回受験する(6,9,11月)

(17)

3. 【(20)】

- ・塾生は所属校舎の自習室を開校時間中いつでも利用可能

(18)

(19)

(20)

II.以下の選択肢から正しい記述を選んでください

- ①個別指導では質問対応がメインである
- ②勉強法の改善の際には生徒のノートを見ると良い
- ③個別管理特訓 L の指導時間は 1 科目 30 分×2 の 1 時間である
- ④受験学年の生徒は武田塾模試を必ずしも受験しなくても良い

II	
----	--

III.口頭確認の際に生徒どのような言葉をかけるか具体的に

記述してください

III	
-----	--

カリキュラム、校舎長(教務)の役割、講師の役割

実施日:	名前:
------	-----

I. 以下の空欄を埋めてください

○カリキュラム

- ・カリキュラムの種類は志望校のレベルごとに分かれている
 - ・【(1)】ルートでは中学レベルから確認
 - ・【(2)】ルートでは大学受験の基礎を固める
 - ・その後私立大学を受験する生徒は【(3)】ルートや【(4)】ルートを実施
 - ・国立大学を受験する生徒は【(5)】ルートや【(6)】ルートを実施する
 - ・段階突破テストに合格しないと次のルートに進めない
 - ・段階突破テストの合格基準は【(7)】以上を2回または【(8)】以上を1回

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	
(11)	
(12)	
(13)	

○校舎長(教務)の役割

①【(9)】

- ・勉強法に悩んでいる受験生の相談に無料で乗り、武田塾への入塾が必要な生徒に関しては提案を行う

②【(10)】

- ・定期的に生徒面談(保護者面談)などを行い、科目バランスや受験計画の確認など生徒指導の方針を統括する

③【(11)】

- ・すべての特訓において終了時にチェックを行い、特訓レポートの内容や勉強方針に問題がないかを確認する

○講師の役割

- ・ティーチングではなく【(12)】

- ・講師が特訓内ですべきこと

1. 課題を【(13)】

- ・ヒアリング、テスト、口頭確認から課題発見

2.課題を【(14)】

- ・なぜを繰り返して、本質的な課題を分析

3.【(15)】を明示する

- ・本質的な課題をもとに解決策を明示、目標設定

(14)	
(15)	

II.以下の選択肢から誤っている記述を選択してください

- ① カリキュラムは必ず「基礎徹底ルート」からスタートする
- ② 段階突破テストでは初見問題を解く力を試す
- ③ 校舎長(教務)が指導の責任者として各先生の指導をまとめる
- ④ 武田塾の講師の役割はコーチングの面が多い

II	
----	--

III.授業ではなく特訓を行う目的を記述してください

III	
-----	--